



INDONESIA MISSION

新ホームページ
スマホ対応

発行：日本福音教会(JEC) インドネシアミッション

〒662-0896 西宮市上ヶ原六番町2-42 西宮福音教会内 ☎：0798-51-5100

郵便口座：00970-3-313875 「インドネシアミッション」

HP：<https://indnesia.com>



グンジュマ村へ行く途中にて

2025年も西カリマンタン宣教のためにお祈りとご支援をありがとうございました。

この12月でグロリア寮Ⅰのデルフィは舎監を退職となりました。今まで14年間エンティコンで夫のリコさんと共に本当に良く仕えてくれました。ATI神学生時代はプニティ教会でも週末奉仕をしてくれました。芯の通った強さと子どもたちへの細やかな愛情で、新グロリア寮の建設、移転という一大プロジェクトを、また寮が国境近くにあるということで起こる数々の難題をも乗り越えてこの働きを発展させてくれました。彼女の退職は大きな痛手ですが、でもこれからもグロリア寮を傍らから助けてくださる予定です。宣教の鍵はやっぱり「人」。デルフィとリコさんに心よりの感謝。そして遣わして下さった神様に感謝します。

2026年も神の宣教は前進していきます。皆様の上に、教会の上に更なる祝福がありますように。新しい年もどうぞよろしくお願いいたします。



舎監のデルフィと

インドネシアミッション代表 高橋めぐみ

ミッショントリップ参加者の声

インドネシアミッション委員 東聖士

私は宣教地を紹介する時に“100回ニュースを読むより、1回現地に行って下さい”と、よく言います。宣教地は人々、言語、文化、歴史など、全てが日本とは異なる世界です。聞き慣れない言葉、匂い、空気感、天候など、五感用いて、その場所に触れることは、日本では味わえない貴重な体験です。そして、あらゆる文化を越えて届く十字架の大きさに触れます。また不思議なことに、海外に行くと、自分が住んでいる日本、そして自分自身について考える機会にもなります。今夏、参加したメンバーの証しをお届けします。今回はインドネシアミッションが活動しているフィールドを幅広く訪れることが出来ました。皆さんの証しを読んで、宣教地を感じていただければと思います。証しのタイトルにある数字は、スケジュールの順番であり、中央の地図にリンクしています。来年も夏にミッショントリップを計画しています。元々関心があった方、この声を聞いて関心を持った方、ぜひ参加を祈って下さい。次回は神様の豊かさを一緒に体験しましょう！



陸路で越える国境にて

①戦争の闇を超えて

インドネシアを語る上で、忘れてはならない事件の一つに、第二次世界大戦中、日本軍が西カリマンタン州で住民を大量に殺害したポンティアナック事件があります。私たちは、この事件が起こったマンドールにも行ってきました。私は、日本人の起こした事件を初めて知り、「だからこそ、この地に福音を届けなければならない」と奮闘し続けてこられた宣教師の先生方の思いに触れ、胸が熱くなりました。

また、私たちはインドネシアにおける未伝部族への宣教の実も見ることが出来ました。トゥバスでお会いしたハリジョ先生は、ムスリムから救われた方です。ハリジョ先生は現在、ご自宅で日本語を教えながら、福音を伝えています。タヨンナ先生だけでなく、現地に宣教の輪が広がっていく様子は、まさに宣教の実だと感じました。

インドネシアを思う時、私たちは戦争の闇を見ずに進むことは出来ません。しかし、私たち日本人がこのような罪を犯したからこそ、主は、私た

東京グレイス福音教会 桜井朋美

ちが福音を届けることを通して和解するチャンスを与えて下さっているのだとも思います。宣教の実になるまでには時間がかかりますが、神様は良いお方です。私は今後もインドネシアのために続けて祈り捧げていきたいと思っています。



マンドールの壁画

③ともに祈る祝福

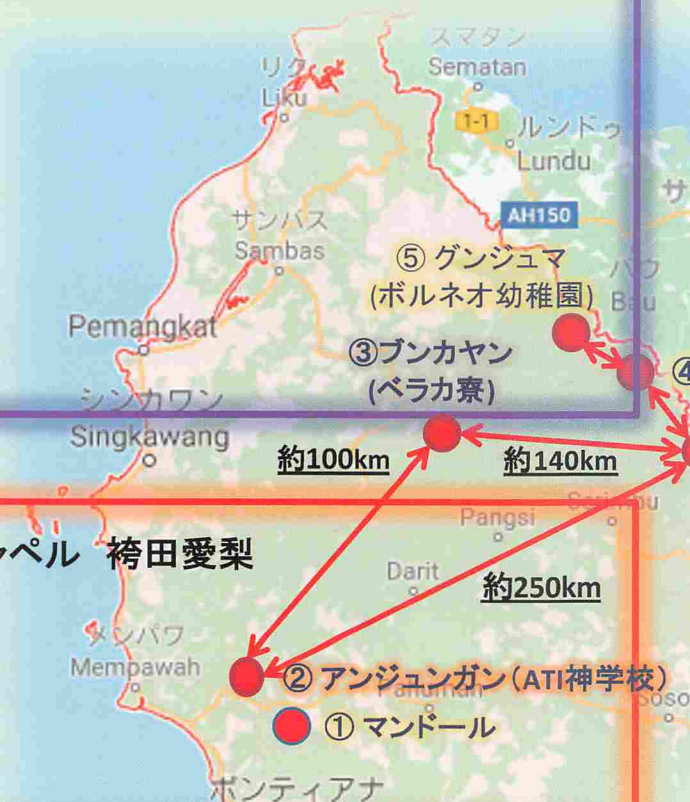
インドネシアに何度も行く人が多いと聞きましたが、今回自分の足で行ってみて、その理由がすぐ理解出来ました。人の温かさ、ご飯の美味しさ、自然の素晴らしさなど、ただそこにいるだけで癒され励まされる、そのような場所だと思いました。

私たちは今回、ブンカヤンにあるベラカ寮を訪問しました。寮はとても広く、設備が整っている場所でした。現在、日本語学校の開設を目指していますが、生徒の人数が集まらないため、まだ開講が難しいとのことでした。そのために、みんなで心合わせて祈る時間を持ちました。遠くにいると現場の様子があまり分からないことも多いですが、今回、実際に現地に行って現状を知り、彼らのために同じ場所で一緒に祈ることが出来て、本当に祝福でした。現地の方と過ごす中で、どんな状況の中でも神様を信じ続ける姿から何度励まされたか分かりません。受講希望者が満たされ、神様が必ずこの実を結ばせて下さることを信じて期待していきたいと思います。

パークサイドチャペル 朝生ハンナ



ベラカ寮で祈りました



②全ての人の主

パークサイドチャペル 袴田愛梨

私は以前に見たミSSIONトリップの映像の中で、インドネシア語で賛美している姿が印象的で、いつかインドネシアに行ってみたいと思っていました。今回状況が整えられこのメンバーでMISSIONトリップに参加出来たことを神様に感謝しています。私たちは2日目に西カリマンタンに移動しATI神学校を訪れました。その中でATI神学校の学生や先生方など、皆さんが歓迎して下さいました。礼拝の中で一人一人に手作りのビーズネックレスのプレゼントして下さい、作成の時間も含めてその気持ちがとても嬉しかったです。私は初めてのインドネシアでとても緊張していましたが、皆さんが笑顔で迎えてくれたことで安心したのを覚えています。この経験を通して歓迎するということが、宣教の一つの形であることを実感しました。

また、礼拝の中で言語は違っても同じ神様を心から賛美し喜んでいる姿にとっても感動しました。「主はそのすべての人の主であり、私たちの主です」(1コリント1:2)の御言葉にもあるように、



女性の教師陣とチームの女性たち

国や言語も超えて主にあって一つとなることが出来るということを体験する時となりました。実際にその場所に行き、体験することで、聞くことや映像だけでは経験出来ない感動がそこにはありました。

④⑤美しい足

堺福音教会 塚本いのり



バイクごといかだ?!

エンティコンのグロリア寮Ⅰから、バイクと車に分かれ、スルートウンバワンにあるグロリア寮Ⅱへ向かいました。ここでも子どもたちと共に礼拝し、感謝な時を過ごしました。そこから、寮の

カリマンタン島西部地図



卒業生であるネリ姉に会うため、さらに奥地のグンジュマ村へと向かいました。彼女は「故郷でキリスト教の幼稚園をする」というビジョンが与えられ、現在ボルネオ幼稚園を運営しています。私は7年前の訪問時にも彼女と会っており、今回のトリップで最も楽しみにしていたことが、彼女との再会でした。

彼女の村へ向かう道のりは、バイクでいかに乗ったり、竹の橋を渡ったりと、想像以上にハードな道でした。険しい道を越えた先で、彼女は当時と変わらない笑顔と、美味しい手料理で迎えてくれ、感動の再会を果たしました。奥地の村で幼稚園をすることは簡単ではなく、彼女は時には涙を流しながらも頑張っていました。しかし彼女を通して、神様の愛が子どもたちに、そしてこの村に流れていることを見て、私はとても感動しました。「なんと美しいことか、良い知らせを伝える人たちの足は。」(ローマ10:15)。この場所で主に仕える彼女の姿は、本当に美しいと心から思われました。

⑥励まされ続けたエンティコンでの時間

町田中央教会 倉田咲



聖日礼拝の様子



中高生と一緒に♪

エンティコンでの礼拝は、たくさんの恵みの中でも忘れがたいものです。エンティコンの皆さんがインドネシア語訛りの英語で力強く10000reasonsを歌っているのを聴き、また一緒に歌った時、色々な思いが神様の力強い御手の中で扱われ、涙が溢れてきて自分でも驚きました。ミッショントリップで色々なところを回り不足や難しさを感じることもありましたが、そんな中であって「あなたの思いを超えて、すべての難しさを超えて、私のみわざは働く」「私はどんな状況にあっても賛美に値するのだ」と神様に語りかけられたような気がしました。

最後の夜、エンティコンの寮生たちの交わりの時間も、本当に楽しかったです。私はインドネシア語が分からず、翻訳機もなくほぼ勘や表情でのコミュニケーションでしたが、国籍やバックグラウンドの違いなどを全て超えて、彼らが本当に私たちを歓迎し、喜び、時間も思いもたくさんのものを分かち合ってくれたと感じました。励ますつもりだったのに、励まされ、愛をもらえばなしのエンティコンでの時間でした。ただただ感謝です。彼らが霊肉ともに健康に、神様を喜びながら生きることが出来るように祈り続けています。

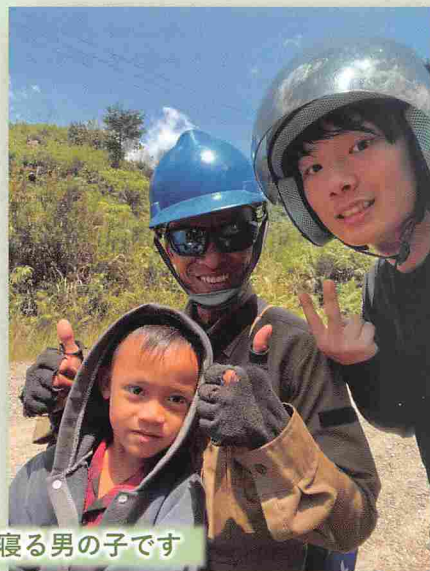
驚きいっぱい詰まっていました

僕はインドネシアミッショントリップで受けたカルチャーショックを紹介します。エンティコンの礼拝では、犬が会堂内を歩き回ったり、子どもが奉仕者が弾いているピアノを鳴らしに行ったりしていて驚きました。でも何より、ギター一本でも皆が心から楽しそうに賛美していた姿に大きな勇気をもらいました。

日常面でも驚きが多く、トイレが和式に近かったり、お風呂がなくて、冷たい水を浴びる“マンディ”だったり、昼は暑く夜は寒いなど寒暖差も激しかったです。ただ日本より涼しく感じました。一方通行なのに車が5台並ぶ広い道路を車とバイクがひっきりなしに走り、軽トラの荷台に5~6人が乗っている光景にも衝撃を受けました。家庭訪問では、どの家も笑顔で迎えてくれ、必ずドリンクとお菓子を出してくれました。温かいお茶、冷たい飲み物、タピオカなど家庭ごとに違うのも面白く、「来てくれて嬉しい」と言ってくれる優しさに心を打たれました。

ヒルズチャーチ 伊藤叶

バイク移動では3人乗りを経験し、前の子どもが乗り慣れていて寝てしまったのが印象的でした。ガソリン入りペットボトルを括りつけたり、バイクのライトが壊れているので運転手の方に懐中電灯を渡され、光を当てながら走ったり、イカダにバイクごと乗ったりと驚きの連続でしたが、全て含めてインドネシアの良さだと感じ、本当に楽しくて、人生が変わる瞬間だと思われました。心からインドネシアミッショントリップに行けてよかったと思います。



彼がバイク上で寝る男の子です

やっぱりインドネシア最高

僕は去年に続いて、今年もインドネシアのミッショントリップに参加し、2回目のインドネシアを訪れました。今回は初めてのご飯や体験も多く、とても楽しかったです。インドネシア料理は辛いイメージがありますが、実は辛いのは付け合わせのサンバル(唐辛子の調味料)で、料理自体は全く辛くないものたくさんあります。日本人でも食べやすく、とてもおいしいです。中でもナシゴレンという炒飯が大好きで、インドネシアは美味しい食べ物で溢れてて本当に最高でした。

また今回のミッショントリップで深く感じたことは、すべてが当たり前ではなく、恵みだという



美味しすぎるナシゴレン

ヒルズチャーチ 山本栄太

ことです。インドネシアは日本とは大きく異なる環境で、僕たちにとっては当たり前で何も感じない。学校に通えること、美味しい水がすぐに飲めること、病気になればすぐに病院へ行けること、整った道路、安心して赤ちゃんを衛生的に産める環境。そうしたものが、僕たちが訪れた地域には揃っていませんでした。



言葉がなくても仲良くなれる!

だからこそ、現地のクリスチャンたちが多く祈り、イエス様に守られ、生きる姿がとても印象的でした。その姿を見て、僕たちの生活は当たり前ではなく恵みそのものだとして強く実感しました。日本に帰ってからは、自然と感謝の祈りが増え、イエス様がより近くにおられるように感じる生活を送るようになりました。

この秋、タヨナ師を日本にお迎えして関東、関西でデピュテーションすることが出来ました。タヨナ師にとって初めての海外、初めての日本でした。居住しているインドネシア西カリマンタンのS市から日本に着くまで車中泊一泊、機内泊一泊の3日の旅でした。しかし、後で聞くとその3日間に2人の人に出会い、福音を伝えてお祈りすることができ、ポンティアナック空港で会った●族の男性は信仰告白したそうです。さすが、いつでも伝道の機会を逃さないタヨナ師です。東京に来て「日本の印象は？」と聞くと「人がいっぱい。でもみんな携帯を見て会話がなし」。それを聞いて私は、彼は西カリマンタンで日々人に出会い、関係づくりをし、伝道してイエスキリストを信じる人が次々起こされているけれど、人と人の距離が近いインドネシアと違って、この日本では伝道はやはり難しいのではと思ってしまいました。



ミッショントリップチーム関東組と

しかし、タヨナ師がその日泊まった旅館で翌朝の朝食の後、旅館で飼っている老犬をなでた事をきっかけに、女将さんが何も聞いていないのに自分の事を話し始めたのです。その女将さんは乳がん、大腸がんの手術を経験し、健康の事、認知症の御主人の事、そして死後について不安を持っておられました。そしてその日の夜に、チャンスが与えられタヨナ師はその女将さんの健康のためにお祈りし、福音を伝え、そしてイエス様を受け入れるお祈りを導くことが出来ました。

そして次の朝は、礼拝前にファミリーレストランでモーニングを食べようと開店を待っている時に、今度は足の少し不自由な女性に出会いトラクトを渡しました。するとその日に連絡が来て、この女性は後日、東京グレイス福音教会の伝道カフェに来ることになりました。



レディースカンファレンス関東でのメッセージ

来日して2日間の間に2人の人に福音を伝える事が出来るとは！と、タヨナ師に伝えると「来た時から東京の救いのために祈っていた」「旅館では夜中に起きたので、ずっと旅館の人のために祈っていた」と言いました。私は「日本は状況が違うから」と思ってしまったことを悔い改め、改めて彼の魂の救いへの真剣さ(というより、生き方そのものが伝道です)、そして「祈りの力」を実感しました。

というわけで、東京では礼拝奉仕とJECレディースカンファレンスでは熱く、祈りとその実について語って下さいました。またインドネシア教会の牧師たちの集まりでも宣教報告が出来ました。関西では3教会とKBI(関西聖書学院)で奉仕して下さいました。どの集也会もタヨナ師のいのちを賭けて●族伝道にフォーカスしているパッションと、また祈りの結果救われていく人たちの素晴らしい証しに心燃やされました。そして「●族の魂の救いのために祈って下さい」という切実な願いに心を動かされました。

10月12日(日)午後には、堺福音教会を会場にお借りしてインドネシア宣教集会をすることが出来ました。が、ミッショントリップ参加者も遠くから駆けつけてうれしい再会の時となりました。大阪インドネシア教会の方々も参加して下さい、日本&インドネシアの合同賛美チームが結成されて2か国語の賛美で、神の国の豊かさ、広さを味わうことが出来ました。そして集会後はおいしいインドネシアのソトやミーゴレン、タピオカミルクを味わいながら、時間を忘れて楽しい交わりの時を持ちました。



宣教集会での集合写真

タヨナ師は奉仕の合間に東京、奈良、大阪の観光も出来ました。そして3人の子どもたちへのお土産がいっぱい詰まったスーツケースを持って、また3日間の道のりを帰って行きました。全てを守り、助け、そして祝福して下さいた神様に感謝します。また●族伝道のために献げて下さった方々に心より感謝します。

余談ですが、タヨナ師の子どもたちは学校で「僕のお父さん、今日本に行ってるんだ。帰ってきたらみんなにもお土産あるからね」と言ったそうで、タヨナ師はスーパーでお菓子を山のように買っていました。

ー 祈りのリクエスト ー

ATI神学校

◎ATI神学校のスタッフと神学生の祝福のために

中高生寮（3つの学生寮共通）

◎子ども達がキリストに出会って変えられていくように

エンティコン・グロリア寮Ⅰ

◎舎監のデルフィは12月で退職となります(協力関係は続きます)後任のヘルマヌス家族とアシスタントのソフィアのために

スルートゥンバワン・グロリア寮Ⅱ

◎新舎監はATI卒業生のヨピになりました、感謝。伝道実習生のアンディカと共に主の助けがあるように。グロリア寮1と2、ボルネオ幼稚園の主管者となるヘルマヌスのために

ブンカヤン・ベラカ寮

◎ベラカ寮の土地と建物が地域の必要(宣教)のために用いられるように

プニティ・アナスタシス教会

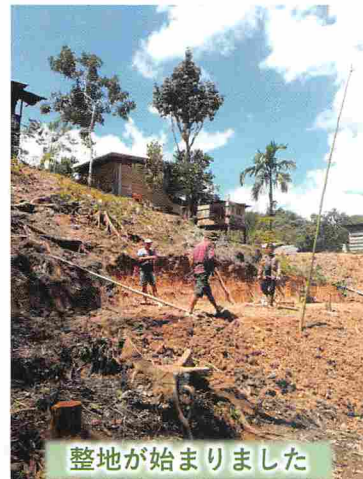
◎フレンキー牧師夫妻が小中学校で宗教(キリスト教)を教えている華人の生徒たちに福音が伝わるように

沿岸部族(●族)への働き

◎タヨナ氏、ハリジョ氏の働きの祝福、救われた人たちの信仰成長のために

グンジュマ村・ボルネオ幼稚園

◎政府(サンガオ県)の認可手続きが進むように
◎幼稚園建設の資金(300万円)が与えられるように
◎建設に関わる人たちに知恵と力が与えられるように



幼稚園の詳細動画

胡椒奨学金プロジェクト奨学生の証し

エンティコン高校3年生
マリア・ネラ

シャローム！ 私の名前はネラです。私は4人兄弟の2番目で、バダット・バル村の出身です。信仰はカトリックです。2020年にスルートゥンバワン村のエンティコン第2中学校に入学しました。私の村から中学校までとても遠かったため、学校に隣接するグロリア寮2で3年間生活しました。寮生活を通して、特に霊的な面で多くの経験をしました。寮に住む前は祈り方を知りませんでしたし、聖書の内容も理解していませんでした。しかし、グロリア寮Ⅱで良い指導を受けて、賛美すること、祈ること、賛美リードの仕方、聖書の書名の暗記、人生の5つの目的を知ったこと、他にも私にとって非常に価値あるたくさんの事を学びました。ここで本当の人生の意味を見出しました。

しかし、中学を卒業するころ私には希望が無いように感じられました。私は高校へ進学する予定でしたが、父がマレーシア警察に逮捕されてしまい、私の未来は暗闇に包まれたように思えました。娘として、私は抑えきれないほどの悲しみを感じました。ただ、父が解放されることを祈り続けるばかりでした。イエス様だけが私の希望でした。私は、誰も学費を工面してくれる人がいなかったの、高校に進学することは無理だと分かっていました。しかしイエス様は私を助けて下さい

ました。私は高校に進学することが出来たのです。他人の家に住むことになりましたが、それでも学校に通えることに感謝しました。1年後、再びイエス様は私を助けて下さいました。ヘルマヌス先生から、日本から毎月60万ルピアの援助があるからグロリア寮Ⅰに住みなさいと連絡を受けました。私の信仰はさらに強められました。イエス様無しでは、これは決してあり得ないことです。

主イエス様に心から感謝しています。父がマレーシア警察の拘置所から解放され、無事に村に戻ることが出来ました。また、私を助け、日本から私を支えて下さっている皆さんに深く感謝しています。いつか皆さんに会って、直接、感謝の気持ちを伝えたいと思っています。

サポート額
学費・生活60000円/月

奨学金支援：一口10000円
申込窓口
八尾福音教会・曙チャペル
伊藤勝利 itokt@nifty.com



奨学生 ネラ